



INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [http://www.inging.co.jp]

INGING NEWS PAPER 2010 VOL.02

Topics

CHALLENGE THE BEST TEAMS

「目指すは頂点!最高のチームで挑戦する。」
イエローカラーを身に纏い、新体制でチームが始動する。

Race Report

Round.1 SUZUKA CIRCUIT 4/18
決勝 2010年4月18日 鈴鹿サーキット

FREE
無料

Special Report

Round.3 FUJI SPEEDWAY 5/2
決勝 2010年5月2日 富士スピードウェイ

「井口卓人 SUPER GT 第3戦“優勝”」

Round.2 TWIN RING MOTEGI 5/22 - 5/23

Support by cyber net

INGING NEWS PAPER VOL.2 [インギング ニュースペーパー]

2010年05月発行 通巻2号

発行：株式会社インギング ネットワーク編集部
〒170-0013 東京都豊島区池袋3-23-7 CHビル

Topics TO START A NEW TEAM STRUCTURE

イエローカラーを身に纏い、新体制でチームが始動する。

CHALLENGE THE BEST TEAMS

目指すは頂点！最高のチームで挑戦する。

新たにスーパーバイザーとして昨年スタアリングを握っていた立川祐祐を迎え、ドライバーには昨年度の全日本F3選手権ランキング2位のルーキー・井口卓人を起用して、2010年シーズンの全日本選手権フォーミュラ・ニッポン参戦する「DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING」。

昨年のオンレンジを基礎としたカラーリングから、イエローをベースとしたマシンに一新、カーナンバー29を身に纏い、再び国内最高峰の激戦に臨む。

PROFILE

名前 井口 卓人
生年月日 1989年2月13日
出身地 福岡県
経歴 ダーフツツサル
サイクリング
目標 F1パイロット



PROFILE

名前 立川 祐祐
生年月日 1975年7月5日
出身地 神奈川県
経歴 数回優勝
目標 チャンピオン



Takuto Iguchi

RACE COMMENT

Final SUZUKA CIRCUIT 4/18

TEAM DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING

スーパーバイザー：立川 祐祐

「新体制で参戦するのは非常に大変なことですが、ここで今年もチャンピオンを獲得することは非常に難しいと思います。体力的にも新しい挑戦ですが、それを乗り越えたいので、もてぎで、もう1段階上のパフォーマンスを期待したいです」

29 井口 卓人

「思ったとおり、とてもハードなレースでした。1戦を終えて、フィジカル面での疲労がかなりありました。本意のところで優勝は出来ませんが、体力的にも新しい挑戦でしたが、それを乗り越えたいので、もてぎで、もう1段階上のパフォーマンスを期待したいです」

Takuto Iguchi ◆No.29 井口 卓人 11位

Race Report

THE LONG RUN TO FINISH THE GOAL!

Round.1 SUZUKA CIRCUIT 4/18

決勝 2010年4月18日 鈴鹿サーキット

井口キャリア初のロングラン!

今季開幕戦でのポイント獲得はならなかったが目標の長い決勝での完走を果たした。

<決勝レース/37周> 天候：晴れ | コース状況：ドライ

レース距離220km、37周の戦いとなる今大会、F3からステップアップしたばかりの井口にとっては、キャリア初となる長丁場の激しい競争に、非常に高いペース、体力的にも厳しい状況が予想される中、午後1時49分、決勝レースがスタートした。

好スタートを切った井口は、12番手で1コーナーへ、続く2コーナー立ち上がり、井口の目前で中野克幸とケイ・コッソリノが絡み、コッソリノがスピンを犯したことで11番手に浮上する。1周目を終えた井口は10番手まで順位を落とす。10周を過ぎたあたりから、上位陣のピットインが始まった上、厚感大がスロー走行するなど、井口はひりひりとポジションを上げ13

周目には6位、14周目には5位、

そして15周目には4位と、同様にピットストップを行っていないマシンたちとともに、トップ4を形成する。

このまま4番手をキープしたまま、

チームはレースの折り返しとなる18

周終了時に井口をピットイン。スタッフが素早くタイヤ交換と給油を完了し24秒2のピットストップタイムで再び井口をコース上に復帰させることに成功。11番手でレースに復帰した井口は、23周目にはピットインを引き伸ばしていたトップのジョアオ・パオロ・オリベラに追いつかれ、背後を指示されたことで進路を譲り、周回遅れとされるが、10番手の石渡宏明との15秒ほどのギャップを詰め、必死の戦いが続く。しかし、背後からは大嶋が迫り、残り10周を切ったあたりから、2台はテールトゥノーズの戦いに。

終盤の厳しい状況の中、大嶋の追撃に耐えた井口は、残り5周のあたりから再び大嶋を突き進むことに成功すると、そのまま37周を走り切って11位でチェッカー。残念ながら今季開幕戦でのポイント獲得はならなかったDELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGINGだが、目標であった長い決勝での完走を果たした井口の頑張りを立川スーパーバイザー以下、チームスタッフも笑顔で迎え、次戦に向けてのさらなるステップアップを確信してサーキットを後にすることとなった。



Special Report

井口卓人 2010 SUPER GT 第3戦 GT300クラス「優勝」

Round.3 FUJI SPEEDWAY 5/2

決勝 2010年5月2日 富士スピードウェイ

自分の走りだけで掴んだ、初表彰台が初優勝!

<決勝レース> 天候：晴れ | コース状況：ドライ

天候は晴れで、コースコンディションはドライ、定期通り2010SUPER GT第3戦が静岡県の富士スピードウェイで行われ、見事GT300クラスでCOROLLA Axio apr GTの井口卓人が優勝を飾った。



最高位10ポイントを獲得する井口 卓人選手